

S t a t i c
Yukari MOMODA 2018.12.7^{Fri.} –12.26^{Wed.} imura art gallery
HOURS: 12:00–18:00 (CLOSED ON Sundays, Mondays, National Holidays)
OPENING RECEPTION: 12.7 Fri. 15:00–17:00

今冬、イムラアートギャラリーでは、4年ぶりとなる画家・桃田有加里の個展「Static」を開催致します。

桃田有加里は、2008年にトーキョーワンダーウォールで審査員長賞、2012年には第三十回 上野の森美術館大賞展にて優秀賞（ニッポン放送賞）を受賞しています。2008年頃には人物表現を中心にしていた桃田ですが、2013年頃より抽象的な風景での表現に変化しています。「最終的には何らかの形で人物像と風景を融合して作品にしたい」と語る桃田ー 本展の作品《The remains》では、その探求を垣間見ることが出来ます。ぜひご高覧ください。

かねてより、私は絵画の中に存在する“時間の静止”に興味をそそられていました。絵画はいにしえより時代の記憶や描き手のまなざしを保存するためのうつわとして存在し、私はそれらの作品と対峙していると、時間が凝縮して投影されているように感じるからです。

キャンバスの中の“時間の静止”を絵として視覚化したいと考えたとき、動的なモチーフをキャンバスという静止した画面の中に描くという対照的な存在の交差によって、画面の中の“時間の静止”を際立たせることを試みました。私の作品の中では、流動的な絵具や記憶は動的なイメージであり、キャンバス自体は静的なモチーフとしてそこに表現しています。なぜ私が記憶を動的な存在として捉えているかというと、記憶は、時間の流れと共に、現実と先入観の断片が合流して重なり合いながら作り上げられる人工的な世界であり、整合化され、ひとりひとり固有の記憶となると考えているからです。つまり、人間の記憶が水気を切るざるのように穴だらけであり、脳裏で変化し続けていると考えていることに起因します。

私は絵画の中の“時間の静止”をキャンバス上に描き出し、可視化させたいと思います。それにより、人間という一つのゆっくりと進化し成長する生命が、現代のスピードや効率を優先する社会の中で、知らず知らずのうちに落としてしまった時間や密度を、私は絵を通じて拾っていきたいと思うからです。

桃田有加里

桃田 有加里 (ももだ ゆかり)

略歴

1987 奈良県生まれ

2011 京都造形芸術大学卒業

2011 ~ 2013 佐藤国際文化育英財団 第 21 回奨学生

2013 京都造形芸術大学大学院 芸術表現専攻修了

主な展覧会

2009 トーキョーワンダーウォール都庁展 「黙展」 東京都庁 (東京)

2010 「TOKYO WANDER WALL 2000-2009 10 年!」 東京都現代美術館 (東京)

2011 「ひとになる」 ARTZONE (京都)

2012 「韓国弘益大学国際美術祭」 弘益大学 (韓国)

「+プリュス: ジ・アートフェア 003」 スパイラルホール (東京)

2013 「第30回上野の森美術館大賞展受賞者展」 上野の森美術館 (東京)

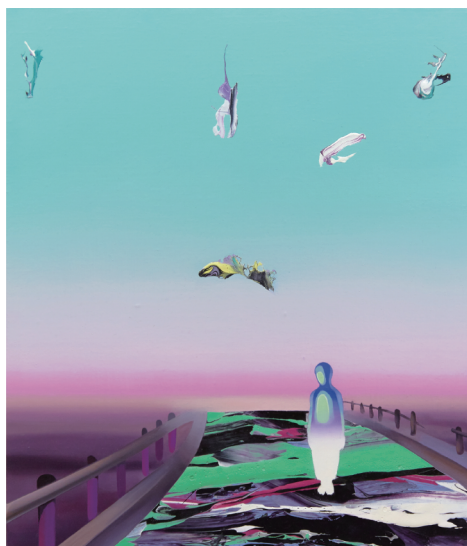
2014 「ぼく、雲」 イムラアートギャラリー (京都)

「Time Slice」 イムラアートギャラリー (東京)

2015 「Artistic Christmas vol.IX」 高島屋新宿店 10 階美術画廊 (東京)

コレクション

倉敷芸術科学大学 / 上野の森美術館



The remains 2018 532×458(mm)
Acrylic and oil on panel and canvas



Us 2018 910×727(mm)
Acrylic and oil on panel, cotton, and chalk ground

imura art gallery

〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31
開廊時間: 火曜日 ~ 土曜日 / 12:00 - 18:00
休廊日: 日・月・祝祭日

Tel: 075-761-7372
Fax: 075-761-7362
E-mail: info@imuraart.com



京阪電車: 「神宮丸太町」4番出口より徒歩3分
市バス: 「丸太町京阪前」下車徒歩2分